

喜界町

図書館だより

10月号



【通算 第292号】

2020（令和2）年10月1日発行

〒891-6201

喜界町大字赤連字樋口前30番地

TEL：0997-65-0962

FAX：0997-65-2523

e-mail:info@kikai-lib.jp

ブックスタート
図書館からのプレゼント！
（コットンバッグ・絵本）



赤ちゃんと保護者が、絵本を介して一時の心の触れ合いをつかむ、きっかけづくりのお手伝いをしています。

★（受け取りは0歳児のみ。ブックスタートの文書が届いたのち、図書館にご来館ください。）

第74回読書週間（10月27日～11月9日）

読書週間は、戦後まもない昭和22年、まだ戦火の傷あとが残っているなかで「読書の力によって平和な文化国家を作ろう」という決意のもと、出版社や書店、公立図書館、そして新聞や放送のマスコミ機関も加わって、11月7日から第1回が開催されました。そのときの反響はすばらしく、翌年の第2回からは期間も10月27日～11月9日と定められ全国に広がっていきました。それから70年余り、「読書週間」は日本の国民的行事として定着し、日本は世界有数の「本を読む国民の国」となったそうです。

ちなみに、第74回読書週間の標語は「ラストまで駆け抜けて」に決まりました。作者の野呂美由紀さんは、「物語に引き込まれラストまで駆け抜ける。早く走り抜けてものんびり歩いても。本は自分のペースで読み進められます。道のりが困難でもゴールは待っていてくれる。あなたを待っている物語がきっとあると思います。」とコメントしていました。

町民のみなさまにおかれましては、読書週間を機により一層喜界町図書館をご利用くださるようお願いいたします。そして、図書館で自分の好きな本を自分のペースで心ゆくまでお楽しみください。

古式豊かな八月踊り

旧暦の8月、9月は島遊びの季節です。島遊びといえば八月踊りがつきもの。加計呂麻島出身のロシア文学者昇曙夢氏は著書「奄美の島々～文化と民俗～」の中で、「八月踊りの曲調は概して快活で、朗らかで、人々の興味を引き、心を浮き立たせるような迫力と魅力を持っている。だから誰でもこの雰囲気に入って、一旦興が乗ってくると、踊り出さずにはいられないのである。多数の村人が広場に集まって、階級を超越し、貧富の差を忘れて、精神的に結合し、同じ一つの魂、一つの気分に溶け込んで、楽しくなごやかな明るい気持ちで、だれでもちょっとした稽古で自由に踊ることができるのは、八月踊りをおいて他にはない。ここらが郷土芸術、民衆舞踊としての八月踊りの特質であろう。」と述べています。

世界中で、喜界島と奄美大島と徳之島にしかない八月踊り。いつの時代も厳しい労働、苦しい生活を強いられてきた奄美の人々は、そうした厳しい日常を忘れるために、老若男女誰もが心を一つにして楽しめる八月踊りを生み出し継承してきたのでしょう。これからも、各集落において独自の八月踊りを継承し発展させていくことを願わずにはられません。

おしらせ



募集中！

読み聞かせボランティアを募集しています。
興味のある方は、図書館へ連絡ください。

一日図書館員を体験して！

8月の土・日曜日に、小学生3人が「一日図書館員」の体験をしました。館長より一日図書館員の任命書を受け取ったあと、本の配架や貸出・返却などの仕事を一生懸命頑張っていました。そして最後に、自分の生まれた日の新聞記事をコピーしてもらいとても嬉しそうでした。

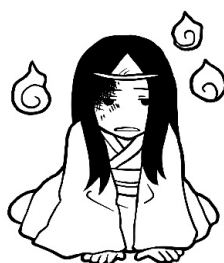
《一日図書館員の感想から》

- ・本を貸すときバーコードをおしてちゃんと表示されているかをこまめに見たりしていたので「ちょっと大変だな」と思ったけど、だんだんやっていくうちに、自然と画面を見るようになったので、大変と思わなくなりました。
- ・一番びっくりしたことは、本を返すときに番号順にならべることです。図書館の人が毎日毎日そうしてくれるおかげで私達もすぐに本を見つけることができました。
- ・本にカバーをつけるのは、空気が入らないようにするのがとてもむずかしかったけど、成功するととても気持ちよかったです。大人になっても図書館の仕事をやってみたいと思いました。

「こわーいおはなし会」開催

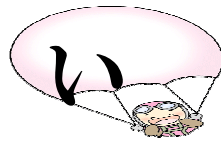
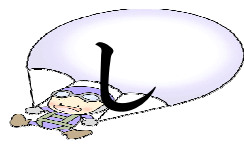
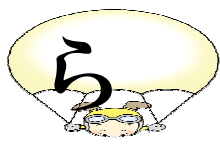
8月22日（土）に恒例の「こわーいおはなし会」を開催し、親子で30名余りの参加者がありました。おはなし会では、図書館職員と高校生ボランティア3名によるおばけの絵本の読み聞かせや紙芝居、ミニ映画の上映等があり、子どもたちも、母親にしがみついて怖がったりしながらも楽しんでいる様子でした。

また、8月は喜界高校生9名が自ら希望して子どもたちに読み聞かせをしてくれました。どの生徒も、事前に絵本や紙芝居を借りて練習をしてきており、とても上手に読み聞かせを行っていました。9名の高校生のみなさん、どうもありがとうございました。





《おとなの本》



《こどもの本》

★『食王』楡周平 著 祥伝社

外食チェーンの経営者・梅森は、麻布の呪われた立地のビルを購入。商売人として最後の戦いを挑んだ男の常識破りの秘策とは…。

★『いちねんかん』畠中恵 著 新潮社

跡取りの弱さで知られる廻船問屋兼薬種問屋の長崎屋。ある日、両親が湯治に行きたいと言い出した。店を任せ張り切る若旦那だが、盗人に狙われ、江戸には疫病が大流行してしまい…。

★『お父さんはユーチューバー』浜口倫太郎著 双葉社
宮古島のゲストハウス「ゆいまーる」のひとり娘で、絵を描くことが大好きな小学5年生海香。ある日、父親の勇吾が「おれはユーチューバーになる！」と宣言し…。

★『図書館の子』佐々木譲 著 光文社

★『東京、コロナ禍。』初沢亜利 写真 柏書房

★『備えいらずの防災レシピ』

飯田和子著 東京法令出版

★『消えた落とし物箱』西村友里作 大庭賢哉絵 学研プラス
校長先生から借りた大事な本が、クラスの落とし物箱ごと見つからない！勝手に消えたり現れたり、入れたものがきれいになったりする不思議な落とし物箱の謎を、チームワークゼロの5人が追う。

★『カメレオンのかきごおりや』谷口智則作 アリス館
旅するかき氷やのカメレオン。世界中で集めた、色とりどりのシロップが店のじまん。元気のないサルくんには、レモンやバナナ、はちみつの黄色いシロップの太陽のかき氷を差し出す。かき氷を食べると素敵なことが起こり…。

★『ねぐせのしくみ』ヨシタケシンスケ作 ブロンズ新社
寝ているあいだに、何が起きている？もしかして「あのひとたち」におなか丸出しにされたり、いろんなねぐせを試されたりしているのかも…。「あのひとたち」を想像した、世界が愉快に見えてくる絵本。

★『スマホをひろったにわとりは』

ニック・ブランドさく いしだみきやく マイクマガジン社

★『わんわんバス』エムナマエえ きむらゆういちさく

新日本出版社



8月の貸出ベストリーダー3



一般書			児童書			雑誌		
1	商う狼	永井 紗耶子 /著	1	しろくまちゃんえほん	絵本	1	暮らしの手帖 4-5月号	
	家族じまい	桜木 紫乃 /著		銀河鉄道の夜	読み物		文藝春秋 8月号	
	キング	堂場 瞬一 /著	2	3にんのひめと王子	読み物		NHK今日の健康 7月号	
	十字架のカルテ	知念 実希人 /著		おおガラス	絵本	3	クロワッサン 7/25号	
	ヒポクラテスの試練	中山 千里 /著		おしりたんてい	絵本		サライ 8月号	
				おかあちゃんがおこるわけ	絵本		週刊文春 7/30号	

10月

日	月	火	水	木	金	土
9/27	9/28	9/29	9/30	1	2	3
	休館日			資料 休館日	ブック スタートお はなし会	おはなし 会
4	5	6	7	8	9	10
	休館日			団体貸出 (各幼・各保・てく てく・子支援・ 早小児童)		おはなし 会
11	12	13	14	15	16	17
	休館日		移動図書 (早町小学校 1~3年)	移動図書 (早町小学校 4~6年)	子育て支 援来館	おはなし 会
18	19	20	21	22	23	24
	休館日					おはなし 会
25	26	27	28	29	30	31
	休館日					おはなし 会

※ は、休館日です
《毎週月曜日・第1木曜日(祝日の時は翌日)》
・開館時間 午前10時~午後6時

8月統計 (25日)	貸出冊数	令和2年度合計
	3,439 冊	16,969 冊
	来館者数	令和2年度合計
	1,081 名	3,934 名

おはなし会・ミニ映画

図書館2階で
毎週土曜日 午後2時~2時40分

★おともだちどうし、おさそい合わせ
のうえ、お気軽にご参加ください。

